

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
 (他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
 関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホームしらさぎの里

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名 生田 基美

評価完了日

平成 19 年 4 月 30 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年7月17日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103797		
法人名	医療法人 博愛会		
事業所名	グループホームしらすぎの里		
所在地	松山市被川1丁目2-28 (電話) 089-951-0750		
管理者	生田 基美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年6月14日	評価確定日	平成19年7月17日

【情報提供票より】 (平成19年4月1日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成16年2月10日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	4人, 非常勤 6人, 常勤換算 3.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3)利用者の概要 (平成19年4月1日現在)			
利用者人数	9 名	男性 6 名	女性 3 名
要介護1	1 名	要介護2	1 名
要介護3	1 名	要介護4	4 名
要介護5	2 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.3 歳	最低 71 歳	最高 103 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり (なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり (なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者のお誕生月にお誕生会を開催されたり、デイサービスの盆踊りには利用者が浴衣を着て参加された。職員は、エプロンの柄を変える等、日々変化や話題作りをされている。
 共用空間は、温度や湿度に気を配り、観葉植物を置いたり、あじさいの貼り絵や手作りカレンダーで雰囲気作りをされている。
 管理者、計画作成担当者、ご家族も交えてカンファレンスを行い、介護計画を作成しておられる。医師の意見やできることできないことシート等からの情報を採り入れて作成しておられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・利用者の入れ替わり等もあり、それぞれの状態を踏まえて改善計画について再考された。現在、寝たきりになりがちな利用者に豊かな表情が蘇るよう支援することに向けて取り組んでおられた。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・自己評価はミーティング時に職員と話し合い作成された。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・一月に初会合が行われた。事業所の概要や出席者の自己紹介等をされた。2回目の開催を来月に予定されている。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・今後、利用者の重度化を考慮し、ボランティアを積極的に受け入れ、さらに利用者のペースで生活ができるように検討しておられた。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・併設のデイサービスを通して、地域の幼稚園と交流する機会がある。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			「自分らしく」がホームの理念である。利用者がその人らしく過ごせる環境をつくっている。		利用者のレベルに合わせた具体的な方針や目標の立案、役割をスタッフ全員で常に考えるようにしている。
			(外部評価)		
			利用者個々の思いを汲み取り、それぞれが「自分らしく」過ごせる環境作りや取り組みを行っていくための理念となっている。		貴事業所が、地域密着型サービスの公的事業所として、目指していくことについても組み込んでいかれることが期待される。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			台所カウンター上部に「自分らしく」と掲示している。全スタッフが目指す理念を理解できるように、スタッフ間のミーティングで話し合っている。		日常業務と理念がつながるように機会教育していきたい。
			(外部評価)		
			利用者一人ひとりの笑顔の場面が増え、身体機能の維持向上等「自分らしく」過ごせるよう、職員で共有して取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族にたいしては、訪問時、カンファ時に伝えている。		地域の方には、運営推進会議で伝えているが、尚、もっと理解してもらえるようしたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) しらさぎの里便りの掲示、家族への送付など、狭い範囲での広報をしているが、地域交流の機会は少ない。		日々の散歩などで地域の方々とのかかわりを持てるようにしていきたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事に参加する人が少ない。 (外部評価) 併設のデイサービスを通して、地域の幼稚園と交流する機会がある。		積極的に参加できるようにしたい。 さらに、事業所のことを地域の方々に広く知っていただくような取り組みをすすめていかれてはどうか。運営推進会議や地域行事等、地域の方とのかかわりをきっかけに一つづつすすめていかれることが期待される。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議にて話し合いはしたが、その他の参加はしていなかった。		地域とのかかわりを持って、積極的に取り組みたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価に対して、全スタッフで話し合いをもっている。 (外部評価) 自己評価はミーティング時に職員と話し合い作成された。利用者の入れ替わり等もあり、それぞれの状態を踏まえて改善計画について再考された。		スタッフ全員で自己評価に取り組みたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)			
				今年1月に運営推進会議を行い、意見を頂いている。		運営推進会議での意見を聞き、スタッフ全員でサービス向上に努めていきたい。
			(外部評価)			
					一月に初会合が行われた。事業所の概要や出席者の自己紹介等をされた。2回目の開催を来月に予定されている。	会議時に事業所の取り組み等をさらに知っていただき、地域の方達やご家族等、事業所の理解者を広げ、いただいた意見を具体化できるような取り組みが期待される。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)			
				今まで出来ていなかった。		運営推進会議の開催を契機に市町村との連携を図っていきたい。
			(外部評価)			
					運営推進会議時、市の担当者が、会議の目的や事業所と地域の交流のあり方等について話して下さった。	今後、保健師の方等とも連携し、さらに事業所のサービスの質向上のために活かしていきたいと考えられていた。
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)			
				現在のところ対象になる利用者はいない。		地域権利擁護、成年後見人については理解しているものの、尚、スタッフ全員に理解を深め研修などに参加してもらう。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)			
				毎日のミーティングの中で、虐待に対しての話し合いをもっている。		新職員に対しては、個別に指導している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には時間をかけて、分かりやすい言葉で説明、同意をいただいている。		引き続き時間をかけて、分かりやすい説明を心がけたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関先に意見箱を置き、意見を記入してもらうようにしている。		利用者及び家族から機会を伺い、意見を聞いている、また、話しやすい雰囲気が出来るよう努力している。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	(自己評価) 毎月文書にて報告している。身体的なことはその都度、家族に電話で報告をしている。		面会時、カンファ時にも利用者の状態等（生活全般）について説明を行っている。
			(外部評価) お家族の来訪時、ご本人の状況を報告し、来訪の少ない目のご家族には電話連絡をされている。「しらさぎの里便り」では、利用者の生活の様子等を伝えておられる。職員の異動についてご家族には、法人内のケアの向上のために異動するという事をお伝えしている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 面会時、カンファ時に家族の状態等を説明し、意見を伺っている。苦情や不満があれば、すぐにミーティングを行い改善をしている。		今後も迅速な対応を心がけ、利用者、家族にあんしんしていただけるように、尚、努力したい。
			(外部評価) 現在、ご家族の来訪時等に率直に意見をいただけているとのことである。ご意見のあったご本人の一日の過ごし方を具体的にお知らせするような取り組みや、ボランティアの受け入れについて検討をされている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティングにて日々時間を設け、全スタッフの意見を聞いている。		個別にも意見を聞いて、風通しの良い職場を心がけている。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 常に理事者と話し合いを行うことで、柔軟な対応が可能となるよう努めている。		急な要望などについては可能な限り勤務調整を行い、日々努力したい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 馴染みの職員が退職、異動に対しては利用者に説明し大きなダメージがないように努めている。		新職員が馴染めるように円滑な関係を構築できるように、常にサポートしている。
			(外部評価) 管理者は、職員に対して「どうすべきか」という方向性を示すような指導に努めておられ、職員も管理者の方針をよく受け入れておられる。職員の異動の際は利用者に説明をされている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 正職員には研修に参加してもらっている。		パート職員に対しても研修に参加してもらいたい。
			(外部評価) 法人内の研修や県GH協議会主催の研修に参加されている。現在、非常勤職員は、研修に参加する機会は少ない。研修記録は法人内の事務所で管理されている。		さらに、利用者に関わるすべての職員が研修を受講できるような仕組みが期待される。又、研修後の周知の仕組み等からも職員個々のさらなるスキルアップを図り、事業所の質の向上に取り組まれることが期待される。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 法人内の事業所とは交流があるが、他の同業者と交流する機会は少ない。 (外部評価) 外部研修受講時、他の事業所とともに勉強をされている。		連絡会などに積極的に参加し交流を深めたい。 例えば、日常のケアの相談や災害時の協力体制作り等、地域の中の他事業所との連携を図り、さらに貴事業所の質が向上していけるような取り組み等が期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) スタッフの相談や悩みを日常の中で受け止めている。		個別的な相談にも対応し、風通しの良い職場作りに努めている。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の勤務状態を把握し、向上心がもてるように努めている。		全スタッフの考え方、個性を把握し、長所を伸ばすよう、お互い向上心をもてるような職場環境を構築したい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 事前訪問で本人の生活状況が把握できるように努めている。		入居後の生活状況の中から思いや不安などをくみとり、話を聞き理解が出来るよう努力している。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談を受けた時、及び事前訪問のときに家族から詳しく話を聞いている。		入居後、面会時、カンファ時にも機会を設けている。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人、家族の思いや願いを確認し、必要とあれば、他の事業所に相談している。		地域への理解を深め、よりの確な対応が出来るよう努めたい。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 事前訪問後本人、家族に見学してもらっている。		スタッフとかかわりを持ってもらい、本人、家族が納得した上での利用をお願いしている。
			(外部評価) 入居前、病院に入院中のご本人に職員が会いに行かれたり、入居後もかかりつけ医の往診をお願いし、安心して事業所で生活できるよう支援しておられる。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 本人の思いや不安、苦しみを知ることによって日々の生活の中で支えあう関係を築いている。		今後も継続して取り組んでいきたい。
			(外部評価) 職員は、利用者の笑顔や状態等から学ぶことが多くあり、利用者と共に過ごすことでゆっくりとした時間の大切さに気付かされることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者に対する家族の思いを理解し、その思いに沿って共に利用者を支えている。		可能な範囲内で家族にも介護に参加してもらい、一緒に本人を支えていけるよう努めている。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 本人の思いを家族に伝え、家族の思いも受け止めるようにしていった。		面会時に相談、報告をこまめに行っている。又、面会の少ない家族とは、電話、手紙を利用して積極的なアプローチを行っている。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 家族を中心に関係が途切れないように支援している。		個別に家族と面談して可能な範囲で支援を行いたい。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 日中の生活、食事、ティータイムの時に、利用者同士の会話が弾むよう盛り上げている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 退居された家族からの連絡、相談があればいつでものっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			日々の生活の中で本人の思い等を把握するようにしている。		全スタッフや家族と協同し本人の思い等を把握している。
			(外部評価)		
			利用者からの希望は少ないが、職員は、個々のこれまでのことを把握して、気持ちを汲み取るよう努めておられる。食べ物を刻むと食欲がわからない方には、なるべく普通食に近い状態で食べられるように配慮したり、同じことを繰り返すような方にもその背景を探って対応しておられた。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			事前訪問、カンファのときに本人、家族から状況などを聞いている。		入居後の状況から、葉日
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			日々の生活の中で本人のリズムを知るように努めている。		残存機能を理解して、全体像の把握に努めている。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			カンファにて計画作成を行っている。		本人、家族、スタッフと話し合いながらプラン作成を行っている。
			(外部評価)		
			管理者、計画作成担当者、ご家族も交えてカンファレンスを行い、介護計画を作成しておられる。医師の意見やできないことシート等からの情報を採り入れて作成しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)			
				計画期間の終了前後に見直しを行っている。また、状態の変化によっても見直しを行う。		家族等とカンファを行いながら、プラン作成を行っているが、状態が急変した場合、管理者と話し合い暫定プランにて対応している。
			(外部評価)			
					定期的な見直しの他に、入居時、状態変化時、入退院時等に介護計画の見直しを行っている。	
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)			
				個人別に記録をしている。		気づいた点があれば朝のミーティングにてスタッフ間で検討している。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援						
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)			
				老健併設のため現時点では特に行っていない。		今後はショートステイ導入を検討したい。
			(外部評価)			
					法人内の併設のデイサービスの行事等に参加されている。かかりつけ医への受診は職員が同行しておられる。	

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 今年1月に運営推進会議を行った。		民生委員、ボランティアの協力が得られるように働きかけたい。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 現在のところ利用していない。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議を通じてかかわりをもつことができた。		さらに、会議を開催することにより、情報交換、協力関係を築きたい。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医の往診が2週に1度あり、身体状況の変化があれば、定期往診以外も対応してもらっている。		主治医と連携をとりながら、最適な医療が受けられるようにしている。
			(外部評価) 事業所は、主治医と連絡を密に取り、2週間に一度の往診の他、緊急時にも往診してもらっている。2,3ヶ月に一度の定期検査も受けておられる。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の往診が2週に1度ある。		2週に1度の往診で対応しているが、悪化する場合は専門病院への受診を検討したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員を配置しており、日常の健康管理を行っている。		主治医の往診時に相談している。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院した場合、入院先の担当者と情報交換している。退院に向けて、家族、病院関係者と連携をしている。		早期退院に向けて関係者との連携を大切にしたい。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 利用者の身体状況を把握し、主治医、家族と連携を図っている。		ミーティング等で話し合いを持ち、方針を共有できるようにしたい。
			(外部評価) 現在、事業所では介護度重度の方が多い。ご家族の来訪時には、現状や今後のことについて、医療機関からの話も交えて話し合いをされている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 本人、家族の意向を伺い、主治医との連携を取り、施設内でどこまで出来るかを、ミーティング、カンファ時に話し合いを行い、終末期を迎えられるようにしていく。		家族には出来ること、出来ないことを十分に説明し、理解をしていただけるようにしたい。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 移り住む先の関係者、家族とも十分な情報交換をし、ダメージが少ないように努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 利用者の誇り、プライバシーを損ねないように配慮している。		スタッフの態度、言動に注意し意識の向上を図りたい。
			(外部評価) 便りの写真掲載は、ご家族の同意を得て行っておられる。職員は、面会に来られたご主人と利用者のお二人で過ごす時間を大切にしておられた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者の表情、行動からも以降を察し、少しでも自分らしく暮らせるよう心がけている。		言葉が出せない利用者の思いも支えられるようにスタッフと共に励みたい。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 利用者に合わせて暮らしを支えたいが、こちらの都合が先立つこともある。		職員は仕事を片付けることも必要だが、利用者の希望を支えられるように話し合いながら努力したい。
			(外部評価) 職員は、日々の中で利用者を選んで決めたりするような場面を作り、表情を確認したりしながら、利用者一人ひとりのペースで生活できるよう支援しておられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者本人がその人らしく過ごせるよう、身だしなみの支援をしている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者の食事の好みを本人、家族から聞き取り食事が楽しめるようにしている。 (外部評価) 利用者一人ひとりの食べ方やペースを尊重し、食事支援を行っている。なるべく自分の力で食べてもらうようサポートし、食事時の姿勢にも気を配っておられた。食欲を高められるよう彩り等にも工夫がうかがえた。		利用者と職員と一緒に準備したり片づけを出来るようにしたい。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 本人の好みの品を楽しめるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 利用者の排泄チェックを行い、パターンを把握しトイレ誘導するように心がけている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			現在入浴時間は勤務者の配置の都合で時間帯は決まっている。		利用者の希望に合わせた入浴支援を今後は行いたい。
			(外部評価)		
			デイサービスの特殊浴を利用しておられる方もいる。入浴を嫌がられるような場合は、声かけの工夫をされている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			消灯時間などは特に決めず、利用者の希望に合わせてように支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			利用者の出来ること、出来ないことを、生活歴、日常生活の中から把握し、能力を活かせるように支援している。		
			(外部評価)		
			利用者のお誕生月にお誕生会を開催されたり、デイサービスの盆踊りには利用者が浴衣を着て参加された。職員は、エプロンの柄を変えたり、日々変化や話題作りをされている。		今後、重度化を考慮してボランティアを積極的に受け入れ、さらに利用者のペースで生活ができるように検討してもらった。
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			お金の管理は現在は職員側で行っている。		利用者本人がお金の管理が出来るように支援したい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			近隣への散歩、買い物など外出できるように支援している。利用者家族の協力もいただいている。		
			(外部評価)		
			事業所は、建物の4階部分にある点や利用者の身体的なこともあり、外出するような機会は少なめである。		さらに、今後、ボランティアや地元の方の協力も得ながら、少しずつ外出の機会を増やしていきたいと考えておられた。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			車椅子の利用者が多いため遠出なかなか難しいが、花見などの外出の支援はしている。		本人、家族の希望を聞いて懐かしい場所などへの外出の支援をしたい。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は希望に応じて利用者本人がかけている。手紙は年賀状を利用者家族に送っている。		日常的に手紙を送れるよう支援したい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			馴染みの人がいつでも訪問できるようにしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 高度認知症の方、ひとりで車椅子に座るとずり落ちる、起立して動こうとする等転倒骨折の心配があり家族の希望もあって、さらしで車椅子Y字固定している。		何とか除去したいが2度骨折されているので困難である。
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵をかけない方針でやってきたがピック病の方の入居以降鍵をかけなければ離設されるので今は出来ない。 (外部評価) 利用者の状態のこともあり、落ち着くまで、エレベーターや玄関は施錠されている。		事業所では、エレベーターのロックを外せるようにすることを、目標として取り組みたいと考えておられる。
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) フロアより見守り気配り、物音にも注意して利用者の動向に気をつけている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 包丁、洗剤、薬剤等は保管に注意している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) ひやりハットの記録を残し検討している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) マニュアルもあるが不十分。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 火災時の避難は職員に徹底しているのが、地域との関わりは少ない。 (外部評価) 災害時には、「ベランダへ避難」、「管理者に連絡」等、災害時の対応についての対策を講じておられた。		さらに、立地条件や介護度が重度の方もおられることから、さらに協力を得られる方を増やしていけることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	(自己評価) 家族の面会時利用者の現状を説明起こりえるリスクについて説明、家族にも電話連絡することもある。		転倒予防のため下肢筋力UPとバランス訓練、家族には履物、靴下などの安全なものをお願いする。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 日ごろの状態をスタッフは把握しており、変わりがあれば管理者、看護師に報告している。報告を受けたら速やかに状態を確認し主治医に連絡対応している。		日ごろと違うことがあればささいなことでも報告、異常の早期発見に努めている。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人ファイルには薬の情報を入れているが新しい薬や用量の変化に常に注意し管理者が指導している。		慣れて勝手な判断で薬を扱わないよう注意し正しい投薬をするように努める。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 献立に繊維の多い食品を取り入れたり歩行などの運動をしたり、腹部マッサージを行う。		体操、散歩など利用者のレベルに合わせた工夫をしたい。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 概ねできている。		利用者がいやがってできない時の対応を工夫したい。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士の献立で栄養のバランスに配慮している。 (外部評価) 栄養補助飲料等も利用し、10時、3時の水分量や尿の色等を記録し、気温にも注意しながら水分確保に努められている。		摂取量が少ない、体重減などがあるときにはこまかく摂取量を記録に取り食べ方の検討をしたり主治医に相談し対応する。
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルを作成しそれに基づき実施している。		流行の兆しがあればさらに注意し情報を集め対応していく。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>まな板、布巾などは毎日漂白を行い乾燥させ清潔にしている。</p>		<p>冷蔵庫の食品の消費期限を確認し、冷凍庫も同様に気をつけている。</p>
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関は植木もありソフトな感じではあるが建物構造上少し場所がわかりにくい。</p>		<p>エレベーターの昇降口を明るくしたい。</p>
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>冬に和室にコタツを置いているが、そこで過ごすよりリビングのソファで過ごす利用者が多い。</p> <p>(外部評価)</p> <p>温度や湿度に気を配り、観葉植物を置いたり、あじさいの貼り絵や手作りカレンダーで雰囲気作りをされている。</p>		<p>和室の活用を考えたい。</p>
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ソファで談話したり、テレビを見たりで思い思いに過ごされている。時々居室で横になられている。</p>		<p>いつのまにか指定席になり席の争いがおきることがある。誰が座っても仲良く過ごせるよう職員がサポートしたい。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入居時に本人の馴染みのものを持ってきてもらうよう説明している。		
			(外部評価)		
			ソファや洋服かけ、テレビ等、利用者の馴染みの物が居室に持ち込まれていた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			温度湿度計を各部屋に設置し管理している。換気はオムツ交換時などに実施している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			廊下の手摺、洗面、トイレのバー取り付け。ベッド柵の位置の工夫をしている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			職員側からは強制せずに、わかること、できることから実践してもらっている。		
87		建物の外周リや空間の活用 建物の外周リやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			屋上にプランターを置き花、野菜などの栽培をしている。		

サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ②利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	言語障害者、認知症重度の方などコンタクト困難で完全に全利用者の考え思いは把握出来ていない。今後も利用者とは向き合い理解し対応できるようにしたい。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	なるべく時間をとりたいと思うが身体介護が優先してしまう。今後は少しでも話しをしたり、一緒に過ごすように心がけたい。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自己表現できない利用者に対してはややもすると介護者のペースになる事がある。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	かかるとそれなりにより表情が見られる。ゆっくりと個々に対応できればもっと活性化されると思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	重度の介護者が多く思うように出来ない。家族の協力も得て少しでも戸外に出る機会を増やしたい。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	主治医との連携はよい。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	本人、家族の意向を汲み、生活援助をしている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会に来られない方とは十分といえないが、概ねよく話を聞かせていただき、情報も提供しているので、信頼関係は出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	ご近所とのコンタクトが出来ていない。今後努力していきたい。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元 の関係者とのつながりが拡がったり深ま り、事業所の理解者や応援者が増えてい る (自己 ③あまり増えていない 評価) 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	判っている人は判っているけど知名度は低い。
98	職員は、生き活きと働けている (自己 ②職員の2/3くらいが 評価) 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の自立度が上がったり、笑顔言葉が出るようになったと喜びを話す。
99	職員から見て、利用者はサービスにおお むね満足していると思う (自己 ②利用者の2/3くらいが 評価) 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	もう少し職員と一緒に楽しめたら利用者も活気が出ると思う。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービ スにおおむね満足していると思う (自己 ②家族等の2/3くらいが 評価) 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	元気になってありがたいと言葉を頂いても、家族は散歩など外気にもっと触れさせたいと思っている様子。(外に出たのがわかるととても喜ばれる)

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

利用者の可能性を見出し少しでも自力を使い自立できるようにする。